

**飯塚市新体育館等建設設計者選定  
プロポーザル審査結果報告書**

**平成 30 年 7 月 31 日**

**飯塚市新体育館等建設設計者選定委員会**

# 飯塚市新体育館等建設設計者選定プロポーザル審査結果報告書

## 1. はじめに

平成30年4月20日付、30飯協健第12号により諮問を受けました飯塚市新体育館等建設設計者の選定について、「飯塚市新体育館等建設設計者選定プロポーザル実施要領」等を策定の上、次のとおりプロポーザルを実施しました。

## 2. 特定までの経過

- 平成30年 4月 20日(金) 第1回新体育館等建設設計者選定委員会(以下「選定委員会」)
- 平成30年 5月 8日(火) 募集開始の公告
- 平成30年 5月 18日(金) 第1回質問(参加表明書等)に対する回答(番号1~3)
- 平成30年 6月 7日(木) 参加表明書等の提出期限(4者から提出)
- 平成30年 6月 12日(火) 第2回質問(技術提案書等)に対する回答(番号1~5)
- 平成30年 6月 14日(木) 技術提案書等の提出要請(4者に要請)
- 平成30年 6月 19日(火) 第2回質問(技術提案書等)に対する回答(番号6)
- 平成30年 6月 22日(金) 第2回質問(技術提案書等)に対する回答(番号7~31)
- 平成30年 7月 3日(火) 技術提案書等の提出期限(4者から提出)
- 平成30年 7月 13日(金) 第2回選定委員会(一次審査)
- 平成30年 7月 18日(水) ヒアリング審査出席要請(4者に要請)
- 平成30年 7月 26日(木) 第3回選定委員会  
二次審査(ヒアリング審査)の実施

## 3. 飯塚市新体育館等建設設計者選定委員会

- ①選定委員会規則第3条に基づき、学識経験者3名、市職員2名の5名で構成
- ②同第5条に基づき委員より、委員長、副委員長を互選

委員長	堀 賀 貴	九州大学大学院人間環境学研究院 教授
副委員長	森口 幹男	飯塚市市民協働部 部長
委員	吉澤 幹夫	福岡大学工学部 教授
委員	小池 博	近畿大学産業理工学部 准教授
委員	今井 一	飯塚市都市建設部 部長

#### 4. 審査経過

##### (1) 第1回選定委員会

期日 平成30年4月20日(金)

場所 飯塚市穂波庁舎 2階 201会議室

- 概要
- ①委嘱状交付式等
  - ②プロポーザル実施要領、様式集の策定
  - ③技術提案書作成要領の策定
  - ④ヒアリング審査実施要領の策定
  - ⑤選定審査評価基準の策定
  - ⑥技術提案者選定・特定要領の策定

##### (2) 第2回選定委員会

期日 平成30年7月13日(金)

場所 飯塚市穂波庁舎 2階 201会議室

- 概要
- ①一次審査
    - ・設計事務所の実力
    - ・担当するチームの能力
    - ・技術提案
  - ②二次審査(ヒアリング審査)について

##### (3) 第3回選定委員会

期日 平成30年7月26日(木)

場所 飯塚市穂波庁舎 4階 市民会議室1-1、1-2

- 概要
- ①プレゼンテーション及びヒアリング
  - ②二次審査
  - ③最優秀者、優秀者の特定

#### 5. 参加者及び技術提案者(以下50音順)

- ・株式会社 梓設計 九州支社
- ・株式会社 石本建築事務所 九州オフィス
- ・株式会社 大建設 九州事務所
- ・株式会社 日本設計 九州支社

#### 6. 審査結果及び最優秀者・優秀者の特定

(1) 最優秀者 : 株式会社 梓設計 九州支社

(2) 優秀者 : 株式会社 日本設計 九州支社

### (3) 審査結果

審査項目	審査の ウェイト	配点	A者	B者	C者	D者
設計事務所の実力	25	250点	217.5	237.5	192.5	230.0
担当するチームの能力						
業務実施方針等	7.5	75点	54.0	57.0	44.0	45.0
テーマに対する技術提案	22.5	225点	151.0	164.0	128.0	156.0
経済性(価格評価)	10	100点	100.0	80.0	60.0	100.0
業務実施方針等 (ヒアリング後)	7.5	75点	58.0	52.0	35.0	60.0
テーマに対する技術提案 (ヒアリング後)	22.5	225点	157.0	163.0	109.0	171.0
ヒアリング審査	5	50点	41.0	44.0	33.0	44.0
合計	100	1,000点	778.5	797.5	601.5	806.0

## 7. 審査講評

### (1) 全体講評

選定委員会では、参加条件等を満たしている全ての参加者に対し、業務実施方針及び技術提案書等の提出を求めるとし、高度な技術提案を求めするために、その作成期間を56日間確保しました。技術提案では、新体育館建設に求められるテーマとして、下記の5つの項目を課題としました。

テーマ①：多目的な利用を想定した機能的・効果的な施設配置のあり方について

テーマ②：敷地形状や条件を考慮した効果的な土地利用計画について

テーマ③：防災拠点としての機能について

テーマ④：LCC(ライフサイクルコスト)の縮減及び自然エネルギーの利用、省エネルギーの工夫について

テーマ⑤：上記テーマ以外や仕様書に記載のない取組について自由に提案

提出された提案書は、実績による経験及び技術力に加え、全ての参加者において業務に対する意欲と熱意が感じられ、テーマに沿った非常に完成度の高い内容でありました。

参加者が4者となり、いずれも十分な実績と実力を持ち備えた設計事務所であったことから、一次審査において、4者全てを二次審査(ヒアリング審査)の対象者として選定しました。

各参加者から提出された技術提案書等は、基本計画の内容をよく理解し、いずれも独自のコンセプトに基づいて提案されており、各参加者の知識、経験、技術の高さが生かされた特色のある内容でありました。

以上のように一次審査、二次審査について、厳正、公平かつ慎重に審査し、全委員了承のもと最優秀者及び優秀者を特定しました。

### (2) 個別講評

#### ①最優秀者(株式会社 梓設計 九州支社)

敷地全体にアリーナ、サブアリーナ及び駐車場を分散配置した計画案です。大庇を建物前面に広

くとることでアプローチに対してシンボリックな景観を創り出すとともに、大底下の3つの広場をうまく活用することで、公園全体の賑わいを創出する提案でした。これらの広場が体育館本体と駐車場などの周辺施設をうまく繋いでおり、公園全体を有機的にデザインしています。あわせて体育館本体について、メインアリーナ、サブアリーナ、多目的ルーム等をコアとしてのサービスエリアの周りに配置することによってセキュリティラインがフレキシブルに設定できるようになり、スポーツに限らない様々なイベントにも幅広く対応できるゾーニングとなっています。本提案は魅力的な空間を多く含み提案者の構想力の高さが十分にうかがえます。大庇については建設費用の面において不安が残るため、今後に慎重な検討を要するものの、4者の中で最も高い評価を得ました。

## ②優秀者（株式会社 日本設計 九州支社）

敷地の南に建物を集中配置し、北側を駐車場、広場、そして中央に「幸せの森」と「長寿の森」を東西に結ぶ「森のプロムナード」を配置する計画案です。新たにコミュニティ空間を創造することで、新体育館のみならず、市民公園全体の魅力を引き出す提案といえます。施設本体は「交流ゾーン」、「アリーナゾーン」、「武道ゾーン」の3つのゾーンに分けられ、明瞭かつ機能的に計画されていました。特に、災害時における利用計画について、被災者への配慮等が十分に検討されている点などで高評価を得ました。しかしながら、本提案のとおり周辺環境等の整備を行うには多額の費用を要することが予想され、実現のためには多くの課題があると考えられます。

## 8. おわりに

4者ともに体育館建設の設計業務に対し、豊富で安定した実績及び実力のある設計事務所であったことから、当初の目的を達成することができたものと考えます。

今後、市におかれましては、本選定委員会の結果をもとに総合的に判断いただき、選定された設計者がその技術を十分発揮し、飯塚市の体育施設の中核を担う新体育館が整備されますことを祈念いたします。

最後に、全ての参加者に、本業務に対し多大なる責任感と熱意をもって取り組んでいただきましたことに対し敬意を表するとともに、組織一丸となり完成度の高い提案をいただきましたことに対し、深く感謝申し上げます。今後の参加者の皆様の更なるご発展並びにご活躍を心から御祈念申し上げます。

平成30年7月31日

飯塚市新体育館等建設設計者選定委員会

委員長 堀 賀 貴